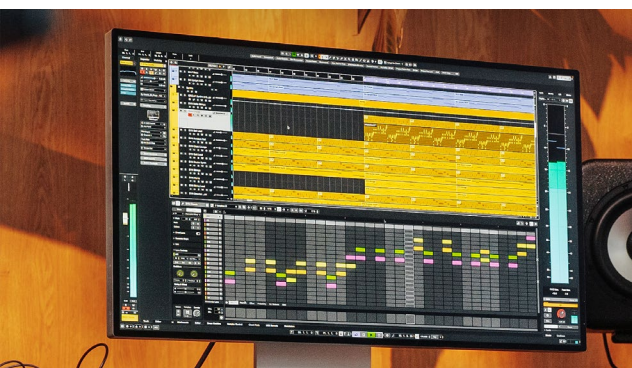




2026年3月期

第3四半期決算説明会



2026年2月4日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

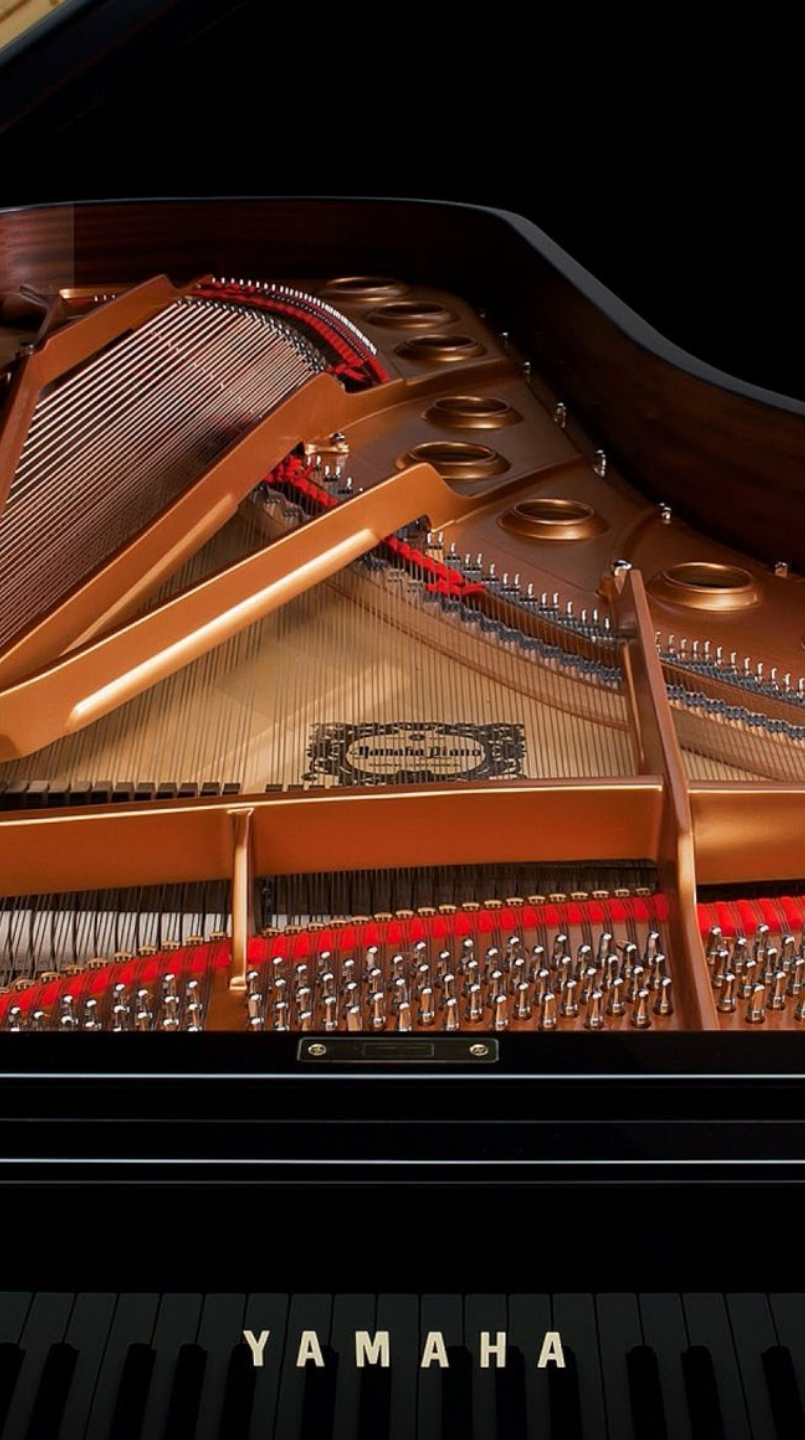
【26/3月期 3Q累計実績】

- ・ 中国の市況低迷、欧米でのプロフェッショナル音響機器の高需要一巡で減収
- ・ 事業利益は、中国の低迷、高粗利のプロフェッショナル音響機器減少、
米国追加関税の影響等により減益

業績予想

【26/3月期 通期予想】

- ・ 売上収益は為替の円安を反映し上方修正
- ・ 事業利益は前回予想を据え置き



1. 決算概要

業績概要

(億円)

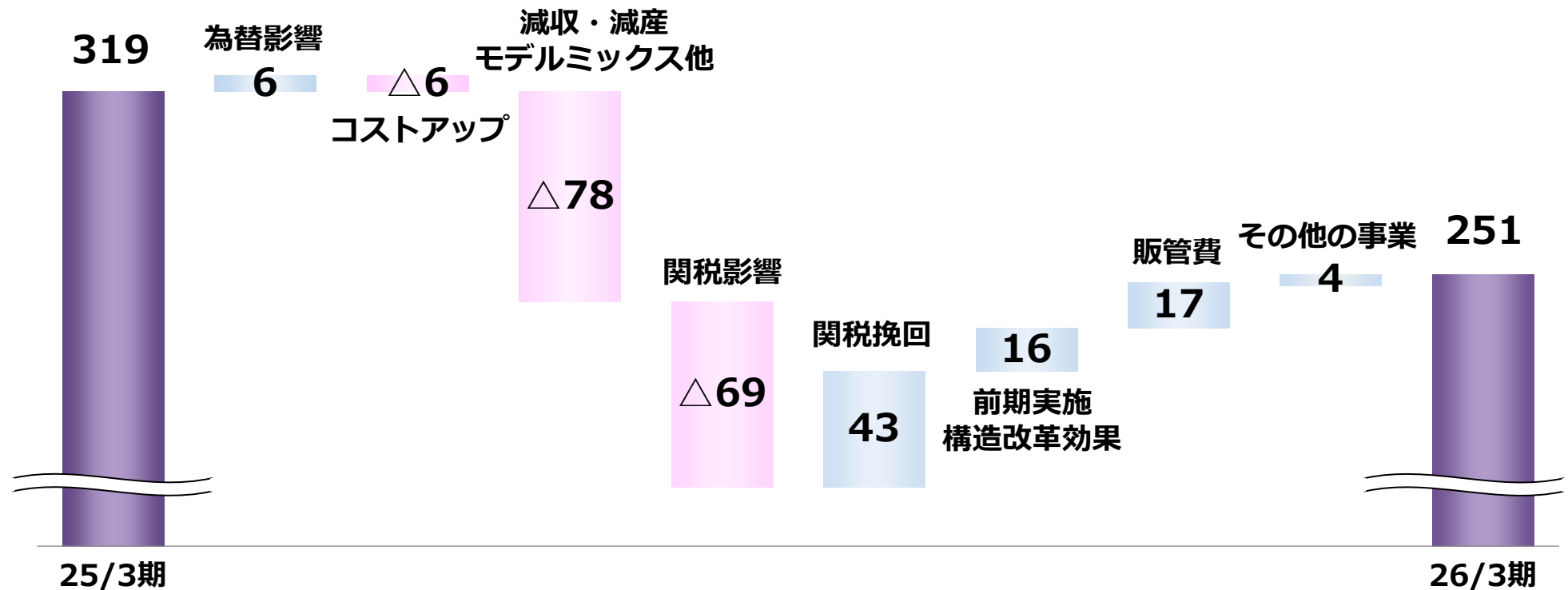
	25/3	26/3	前期比	
売上収益	3,507	3,410	△97	^{*2} △2.8%
事業利益 (事業利益率)	319 (9.1%)	251 (7.4%)	△68	△21.3%
当期利益 ^{*1}	143	202	59	+41.3%
為替レート (円)			^{*2} △2.2% (為替影響除く)	
US\$	152	148		
EUR	165	170		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		25/3	26/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,249	2,233	△17	△14
	事業利益	183	164	△20	7
	事業利益率	8.2%	7.3%	△0.8P	
音響機器事業	売上収益	1,127	1,046	△81	△3
	事業利益	136	85	△51	0
	事業利益率	12.0%	8.1%	△3.9P	
その他の事業	売上収益	130	131	1	△2
	事業利益	0	2	2	△1
	事業利益率	0.1%	1.9%	+1.8P	

通期業績予想

(億円)

	25/3	26/3 (前回予想)	26/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,621	4,580	4,620	$\triangle 1^{*2}$	40
事業利益 (事業利益率)	367 (7.9%)	330 (7.2%)	330 (7.1%)	$\triangle 37$	0
当期利益 ^{*1}	134	230	240	106	10
				^{*2} $\triangle 0.6\%$ (為替影響除く)	
為替レート (円)					
US\$	153	146	150	売上収益	約8.8億円
				利益	約1.1億円
EUR	164	169	172	売上収益	約6.2億円
				利益	約3.6億円

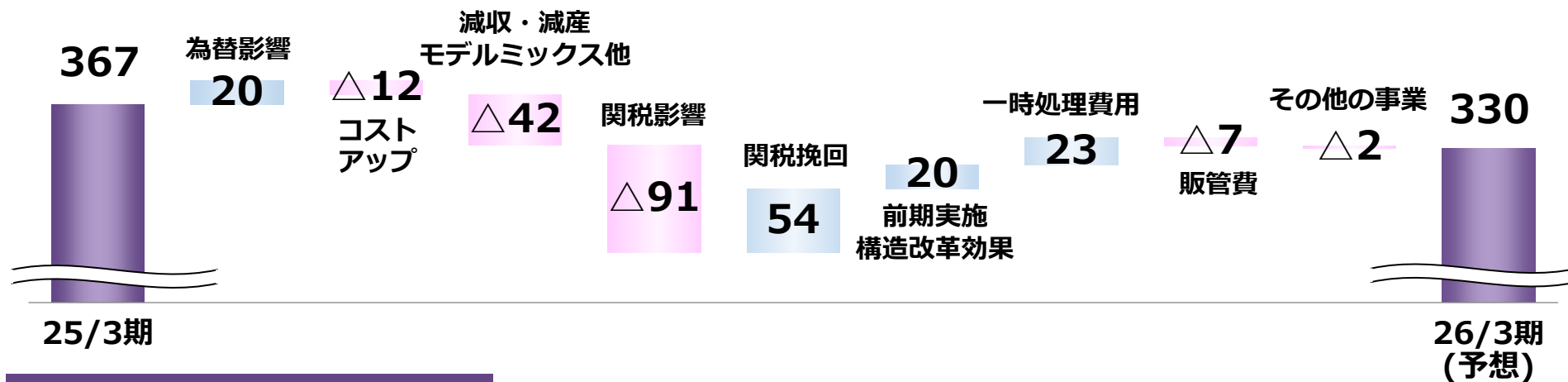
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※4Qの為替前提は、US\$=155円、ユーロ=180円

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



事業別業績予想・前期比

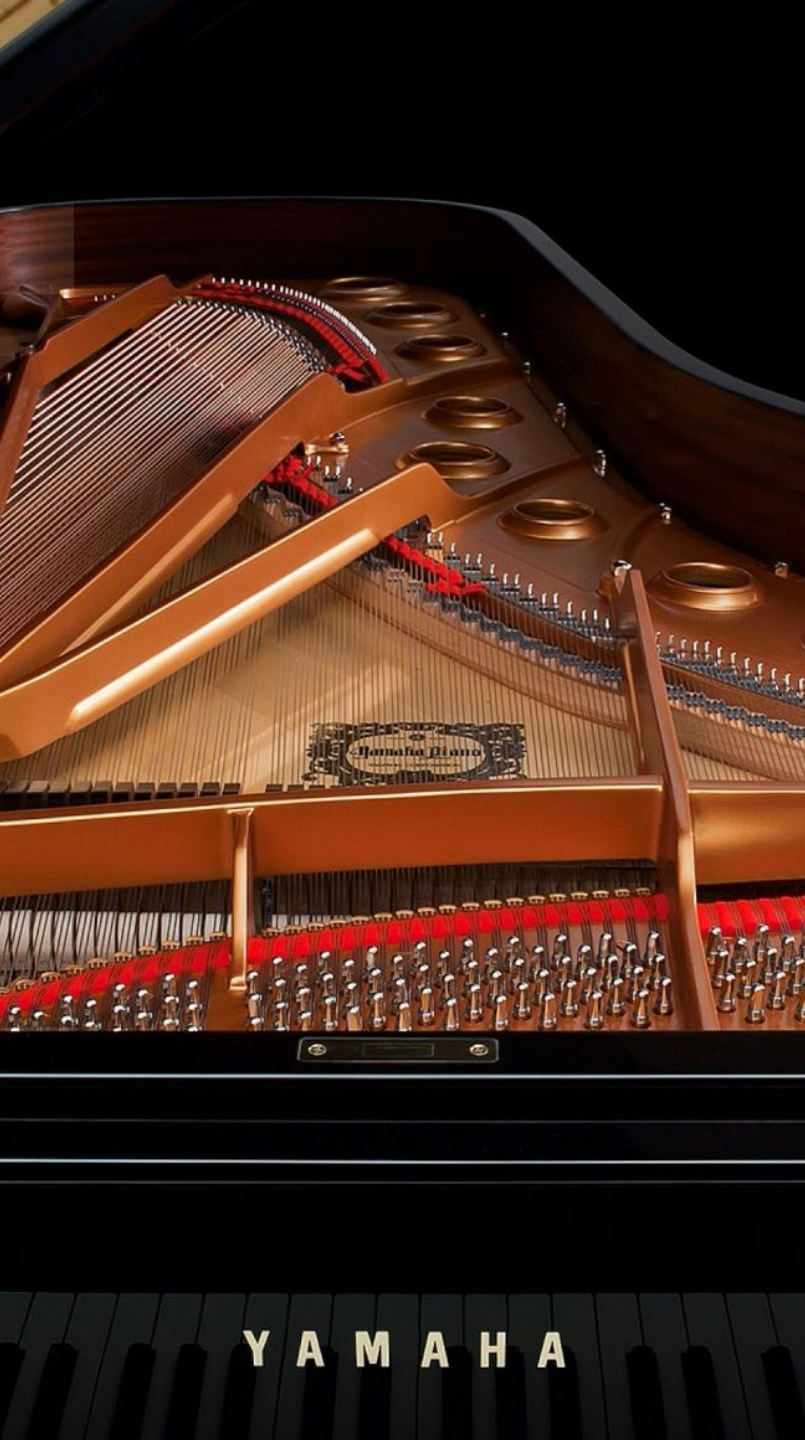
(億円)

		25/3	26/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,961	3,030	69	16
	事業利益	221	225	4	18
	事業利益率	7.5%	7.4%	0P	
音響機器事業	売上収益	1,478	1,410	△68	10
	事業利益	143	105	△38	4
	事業利益率	9.7%	7.4%	△2.2P	
その他の事業	売上収益	182	180	△2	△1
	事業利益	3	0	△3	△1
	事業利益率	1.6%	0.1%	△1.6P	

事業別業績予想・前回予想比

(億円)

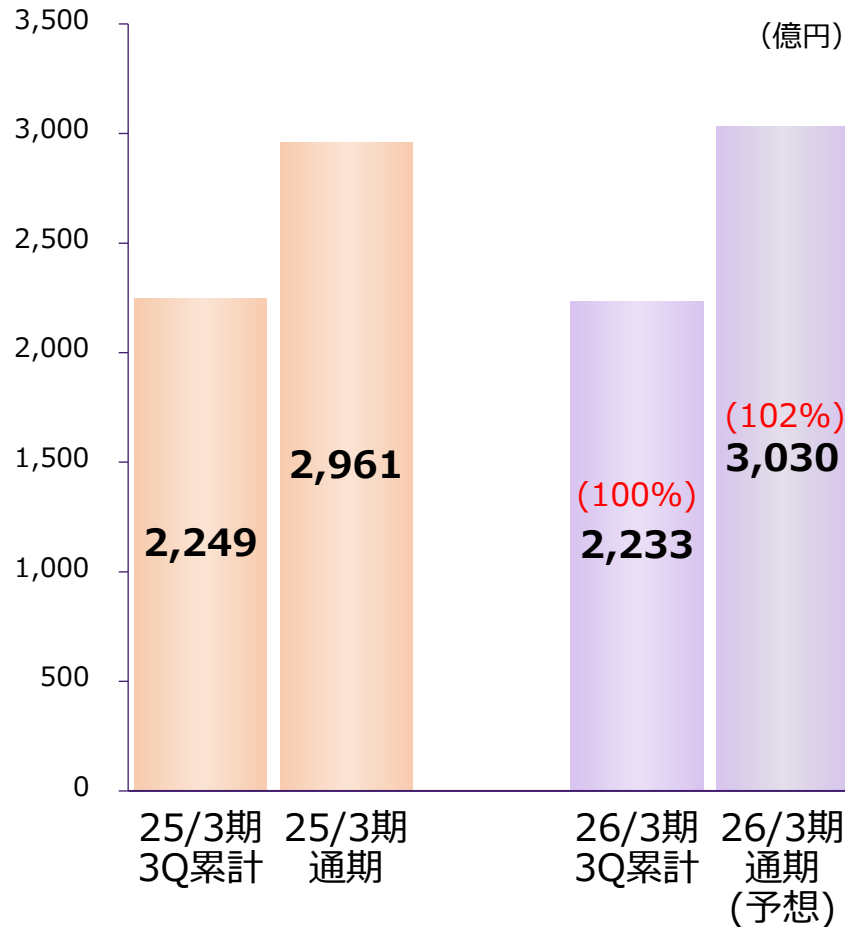
		26/3 (前回予想)	26/3 (今回予想)	前回予想比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,990	3,030	40	72
	事業利益	215	225	10	16
	事業利益率	7.2%	7.4%	+0.2P	
音響機器事業	売上収益	1,390	1,410	20	30
	事業利益	110	105	△5	2
	事業利益率	7.9%	7.4%	△0.5P	
その他の事業	売上収益	200	180	△20	3
	事業利益	5	0	△5	2
	事業利益率	2.5%	0.1%	△2.4P	



2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[3Q累計状況] ピアノを除き堅調で、中国は3Q増収に転じる

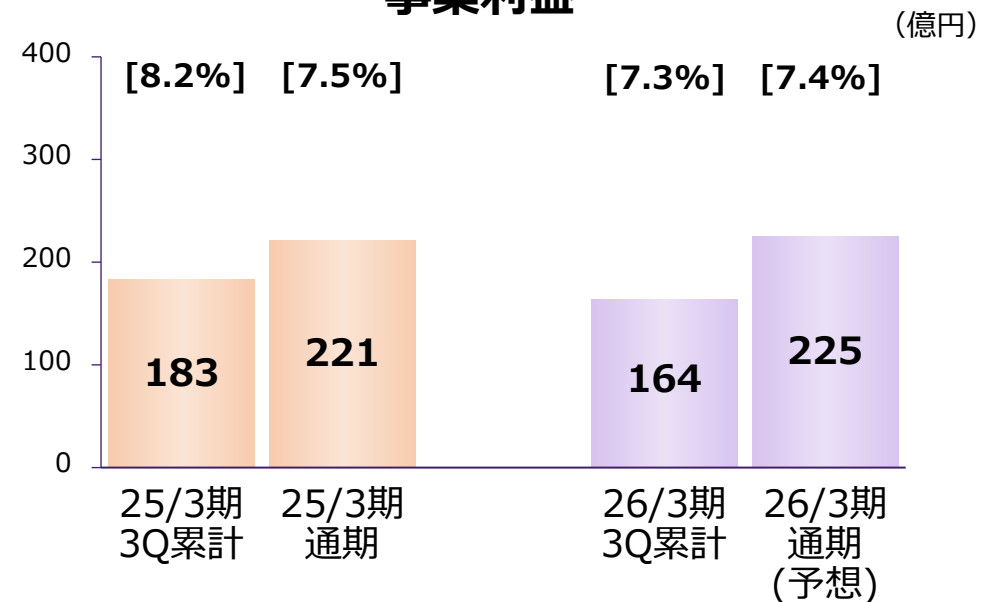
・ピアノは中国が3Q増収に転じるも他市場の軟調続き減収、電子楽器は価格適正化で関税影響を軽減しつつ前年並みを確保、管弦打楽器・ギターは堅調が続き増収

[通期見込] ピアノを除き復調し増収を予想

・ピアノは中国はじめ各地で需要弱く減収、電子楽器は中国を除く全地域回復して増収、管弦打楽器は堅調継続し、ギターは二桁成長を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

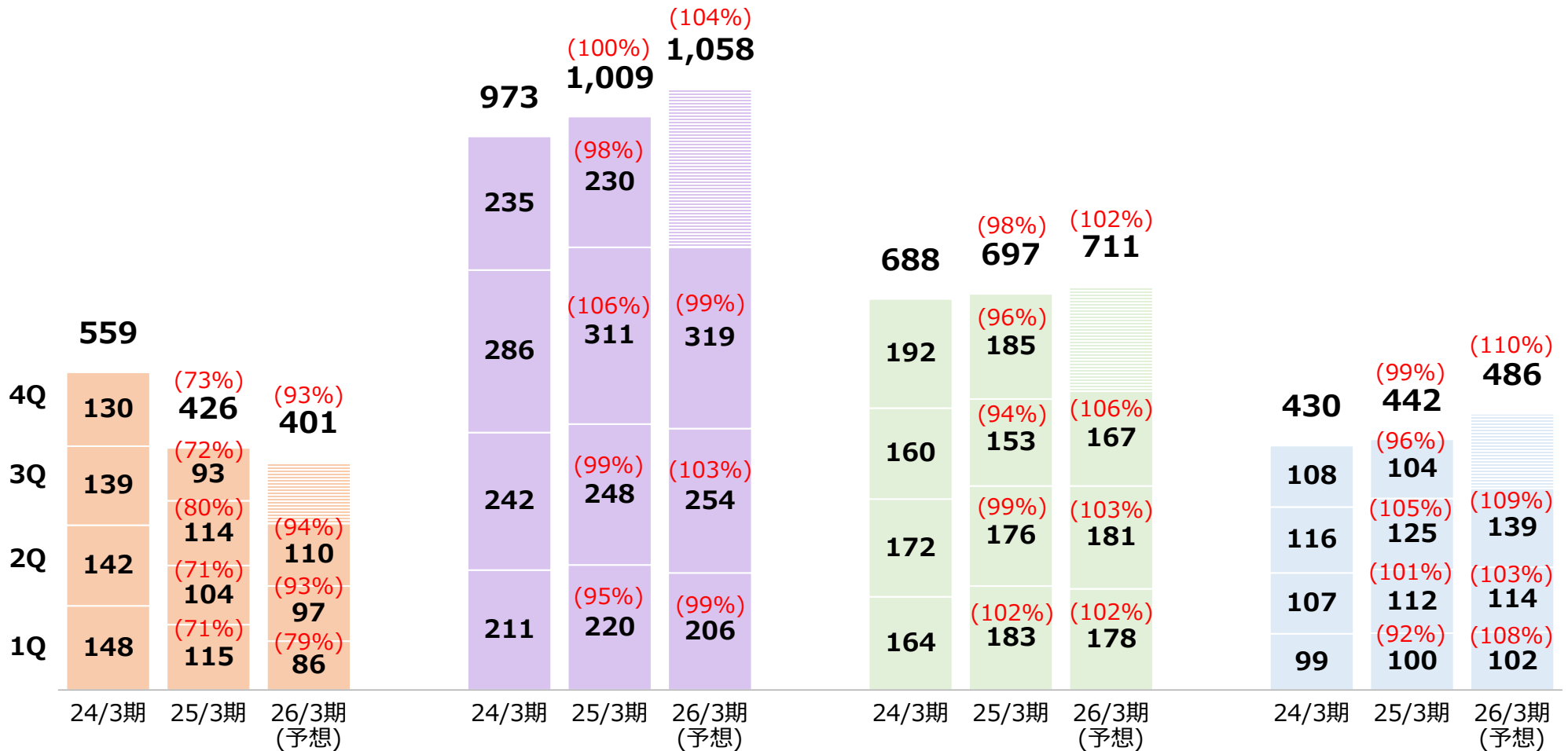
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

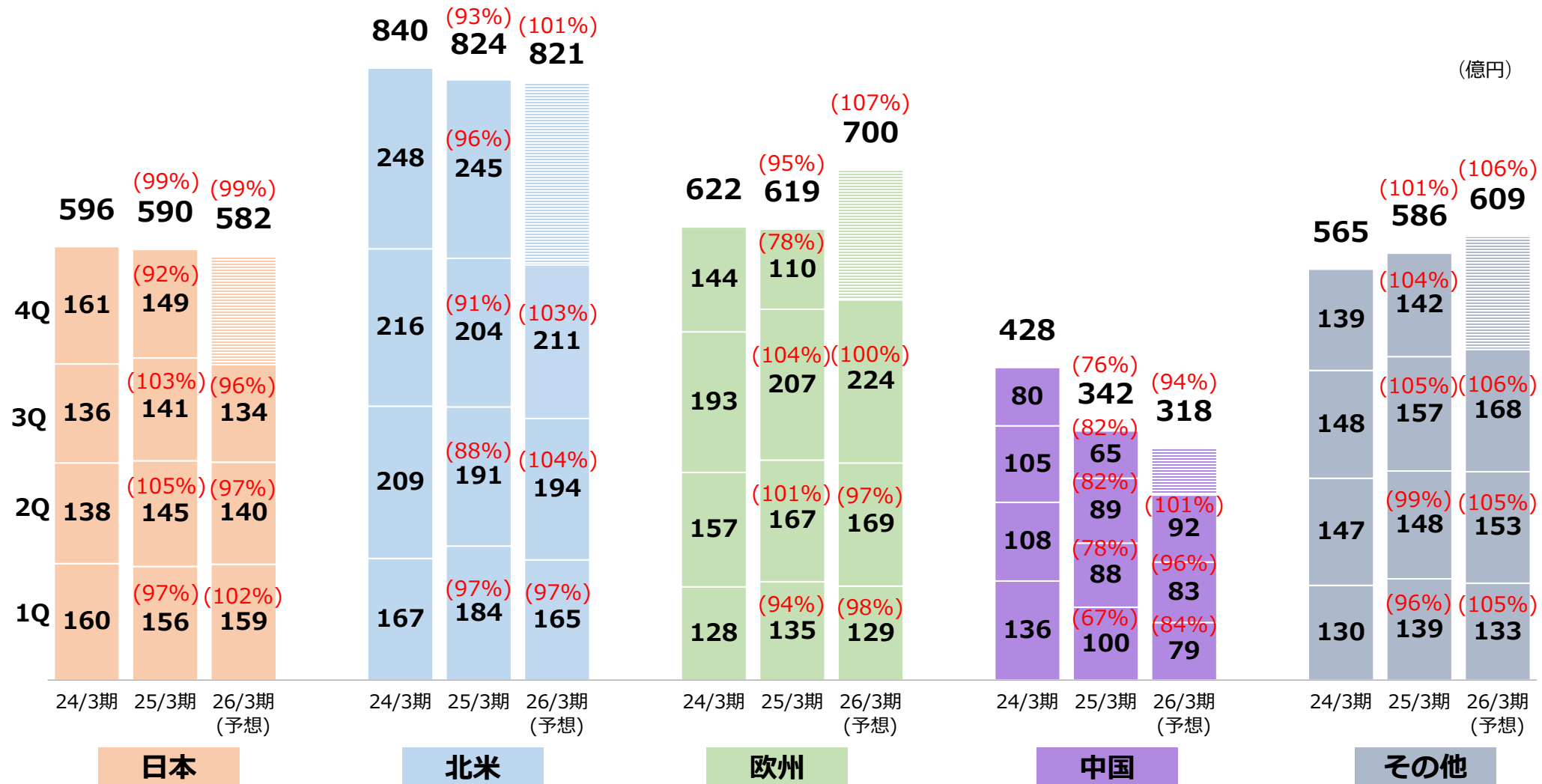
ギター

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

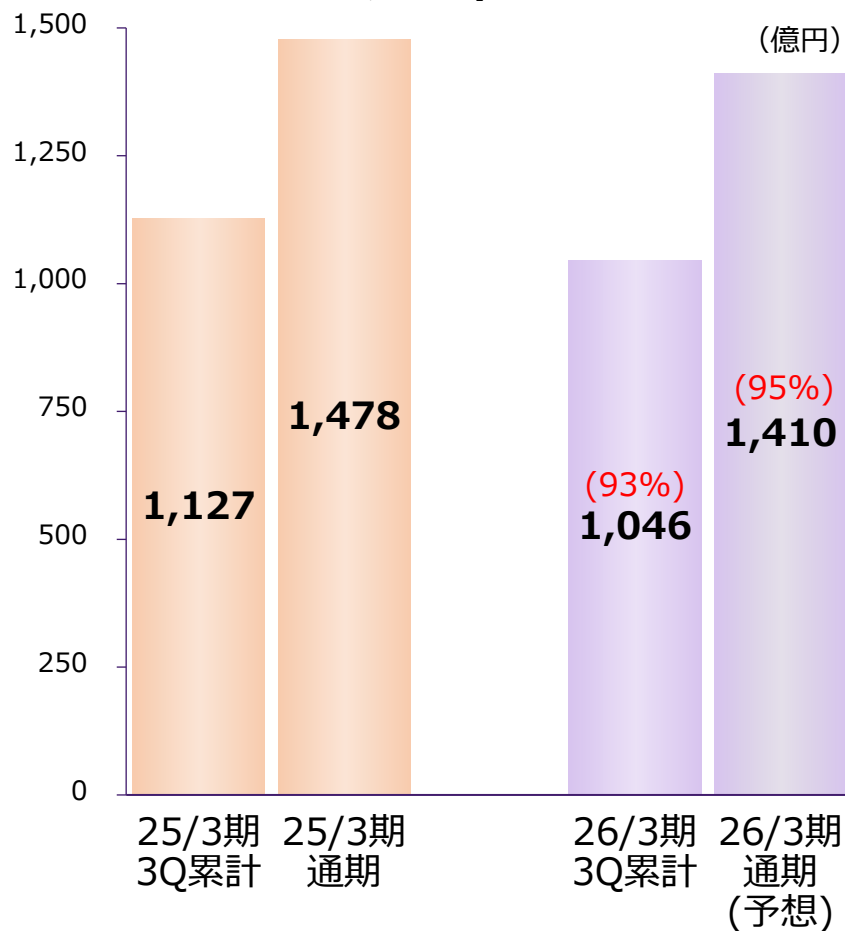


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

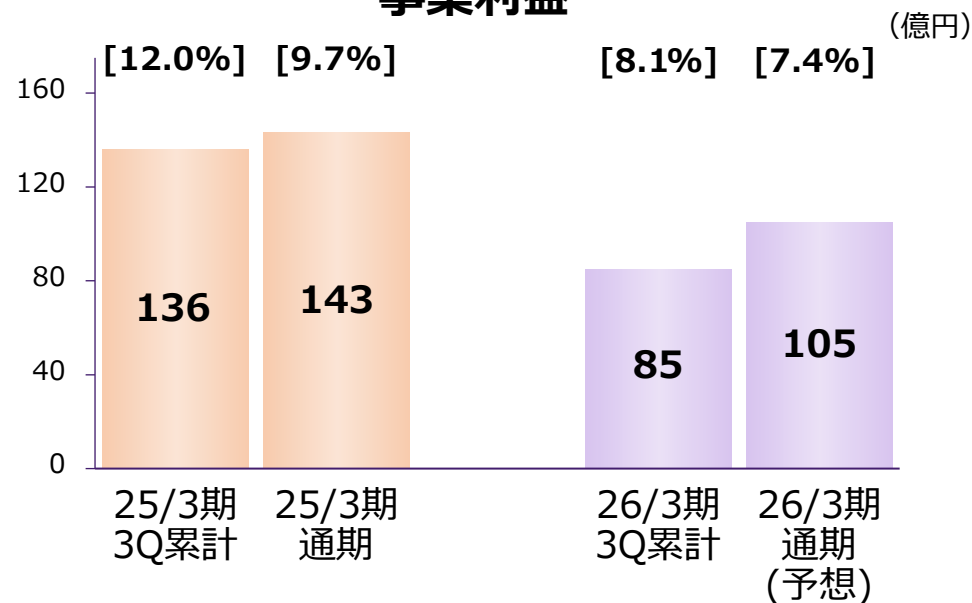
[3Q累計状況] プロフェッショナル音響機器、モビリティ音響機器の増収一服

- ・コンシューマー音響機器はホームオーディオ縮小
- ・プロフェッショナル音響機器は新興国好調も、欧米で前年の高需要が一服し減収
- ・モビリティ音響機器は日本が伸長も、想定通り中国向けの減少により減収

[通期見込] プロフェッショナル音響機器の欧米の増収一服、中国での車載オーディオ販売減により減収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率

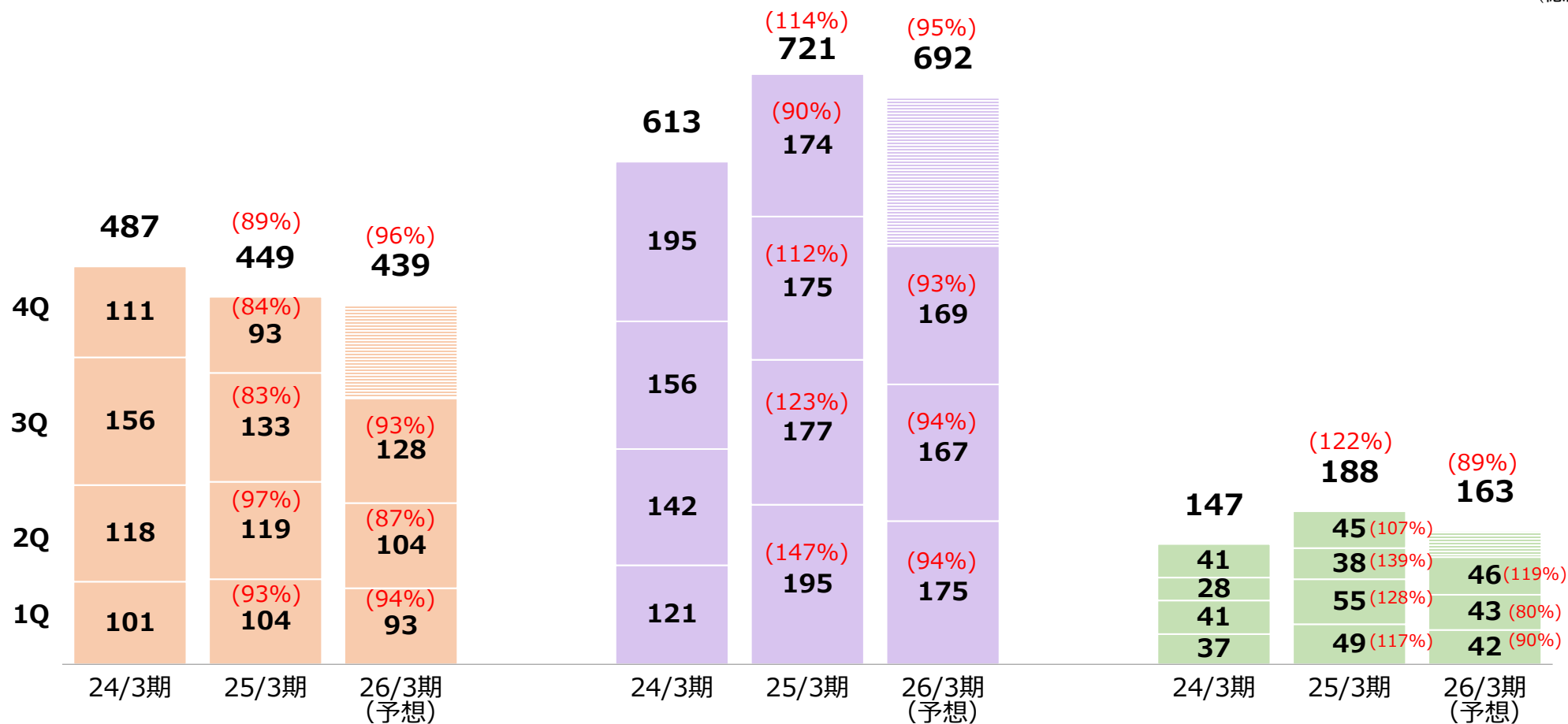
主要商品 販売状況

コンシューマー 音響機器

プロフェッショナル 音響機器

モビリティ 音響機器

(億円)

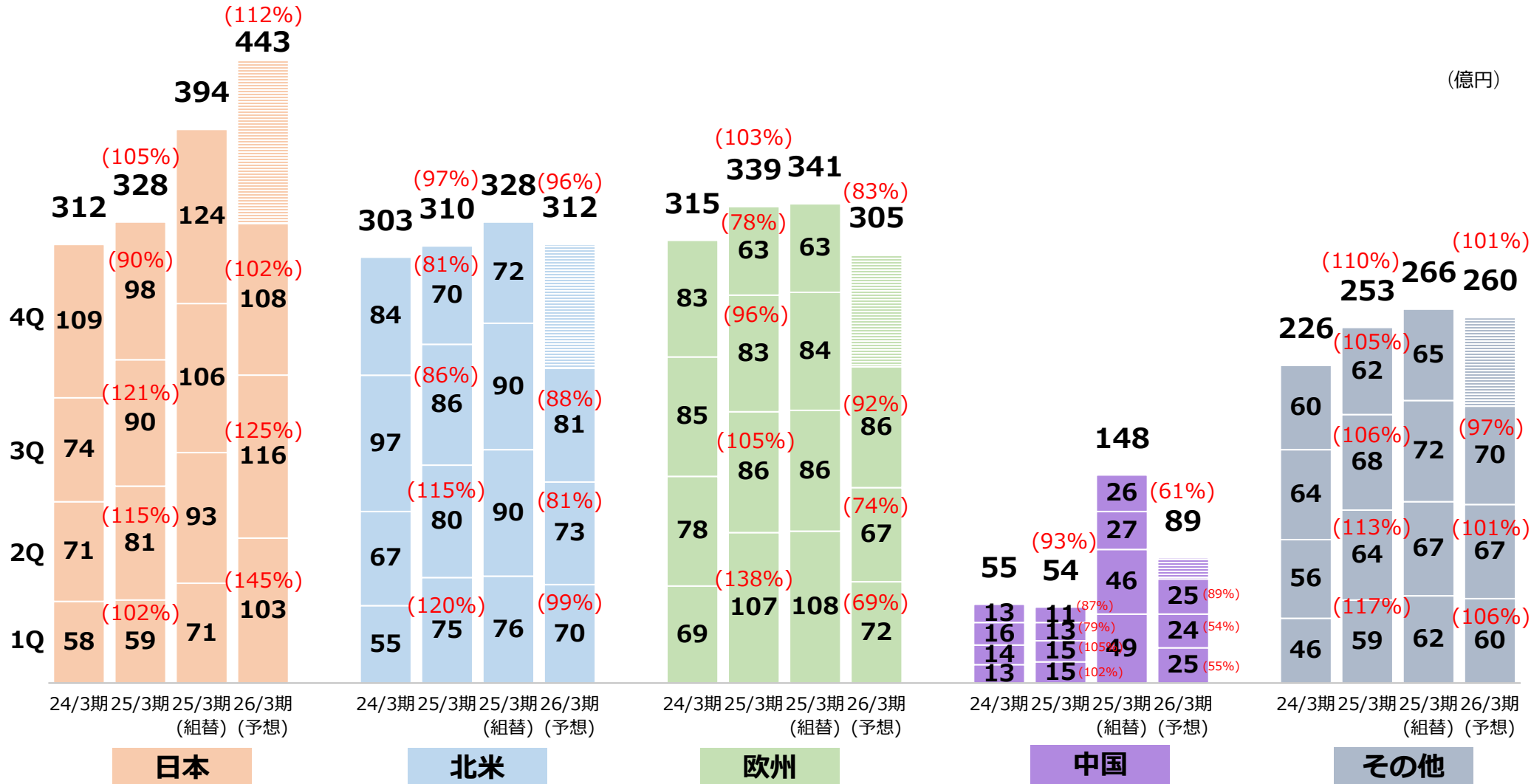


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※2026年3月期より個人向けをコンシューマー音響機器、法人向けをプロフェッショナル音響機器、車載向けをモビリティ音響機器に名称変更しています

地域別 販売状況

(億円)

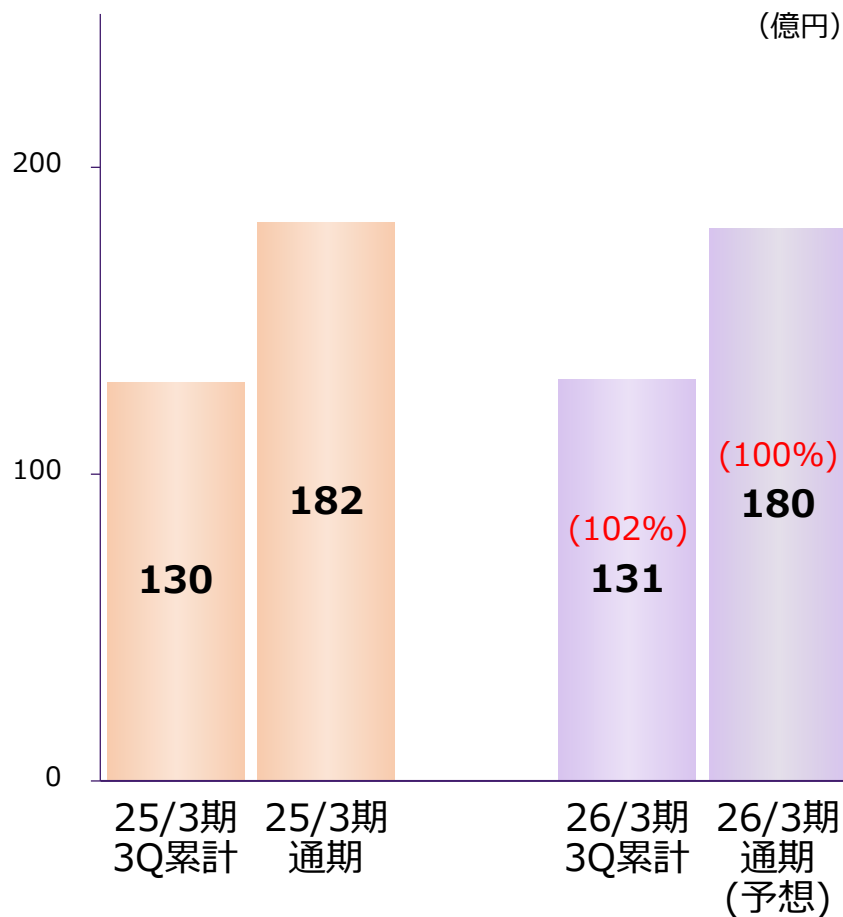


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※2026年3月期よりモビリティ音響機器(旧電子デバイス事業)を部品・装置、その他の事業から音響機器事業に組み替えています

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[3Q累計状況]

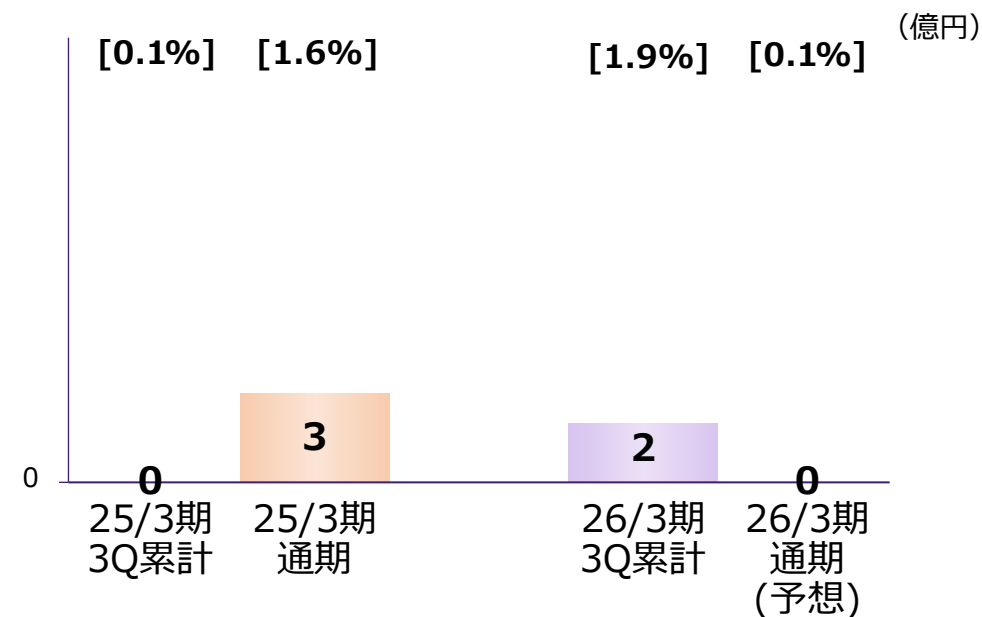
・自動車用内装部品の好調継続

[通期見込]

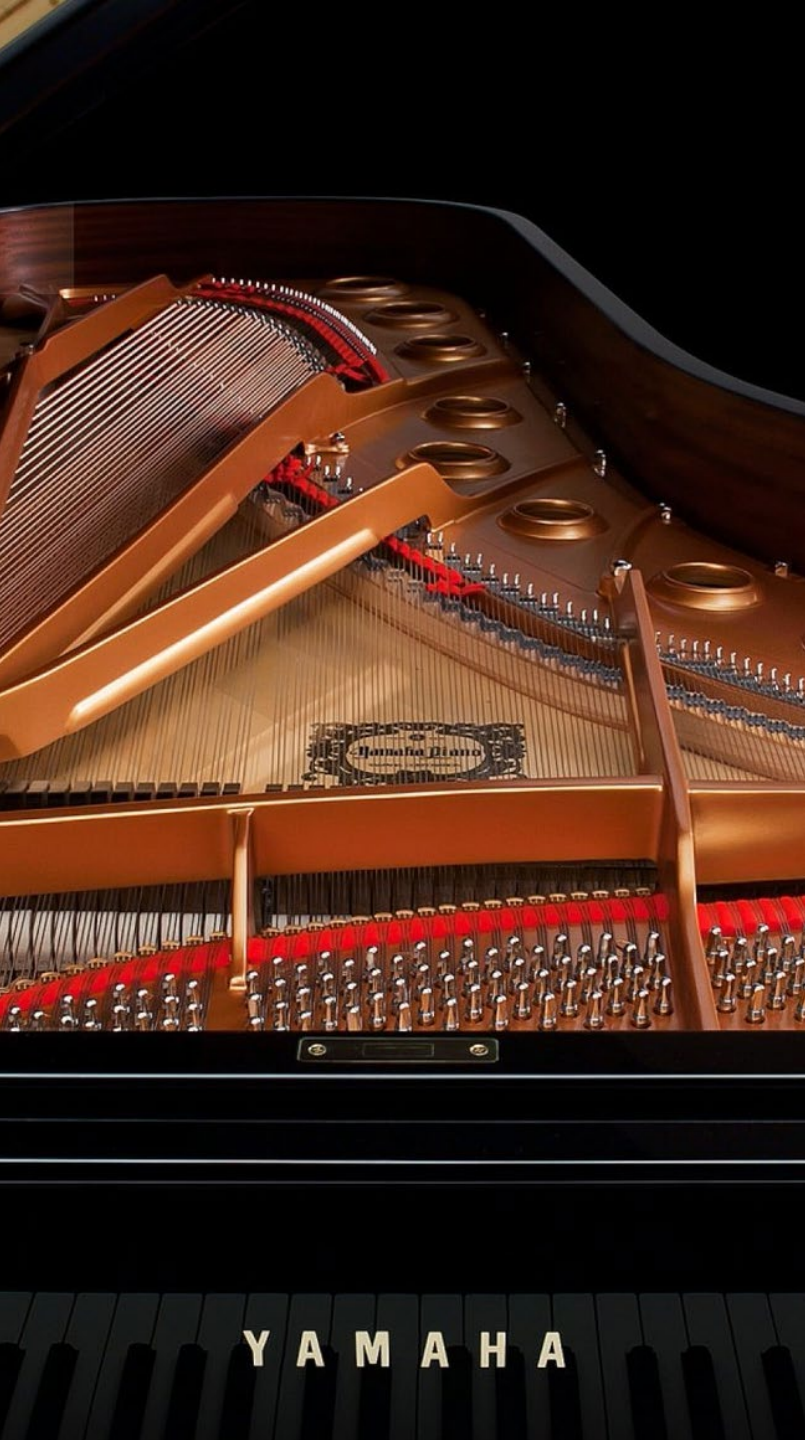
・自動車用内装部品、FA機器は増収も、ゴルフ用品の苦戦により
前年並みを予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

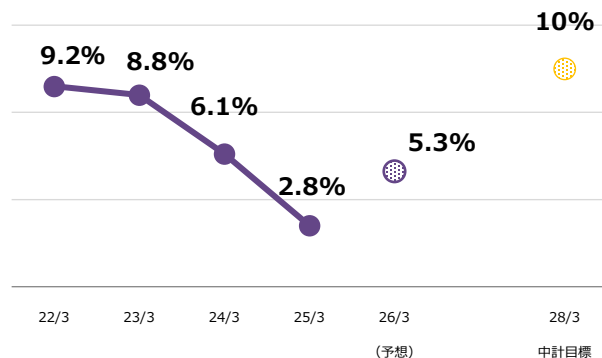
(億円)

	25/3末	26/3 3Q末	増減	26/3末 (予想)
現金及び現金同等物	998	1,188	190	993
営 業 債 権 他	873	851	△23	883
そ の 他 金 融 資 産	52	53	1	52
棚 卸 資 産	1,505	1,584	79	1,520
他 流 動 資 産	91	106	15	108
非 流 動 資 産	2,393	2,506	113	2,506
資 産 計	5,913	6,288	375	6,062
流 動 負 債	1,067	1,142	75	1,057
非 流 動 負 債	345	377	32	345
資 本 計	4,501	4,769	268	4,660
負 債 及 び 資 本 計	5,913	6,288	375	6,062

ROE、ROIC、株主還元等

ROE 26/3期（予想） 5.3%

（株主資本コスト* 6.1%） *CAPMベース



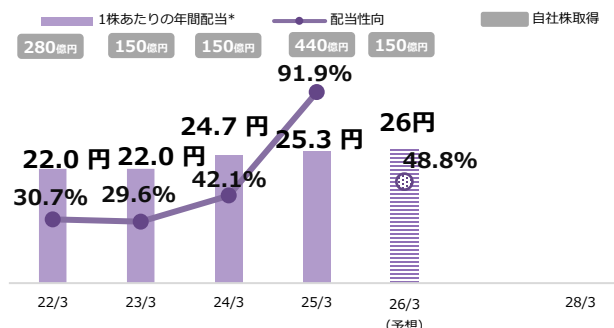
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

<現状評価と改善に向けた方針>

収益悪化に歯止めをかけるもROEは5.3%と依然株主資本コストを下回る見通し。引き続き収益の改善および、株主還元の着実な実行により、株主資本コストを上回るROEを目指す。

株主還元



総還元性向

135.1%

目標 50%以上

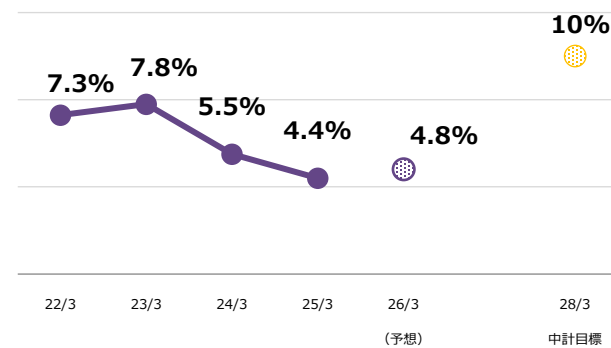
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

*2024年10月1日付で、1株につき3株の株式分割を行っています。
 上記グラフは分割を考慮して1株当たり配当金を表示しています。

ROIC 26/3期（予想） 4.8%

（WACC 5.8%）

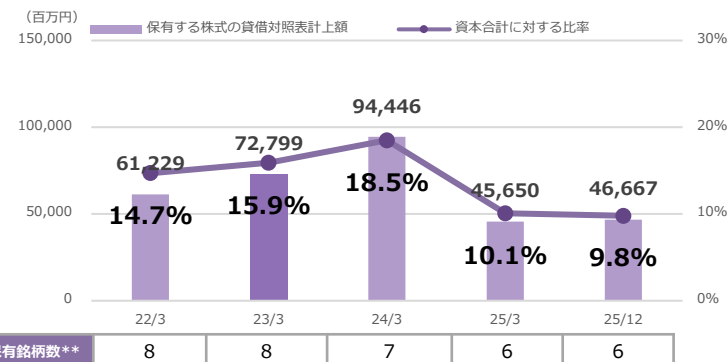


Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

ROIC = 税引後事業利益 ÷ (親会社の所有者に帰属する株主資本 + 有利子負債)

政策保有株式



保有銘柄数**

8

8

7

6

6

Make Waves 2.0

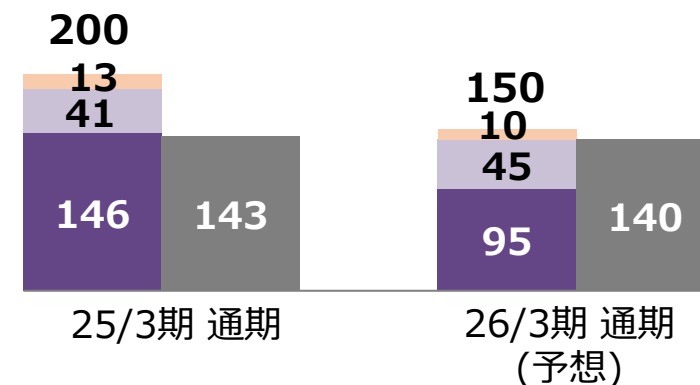
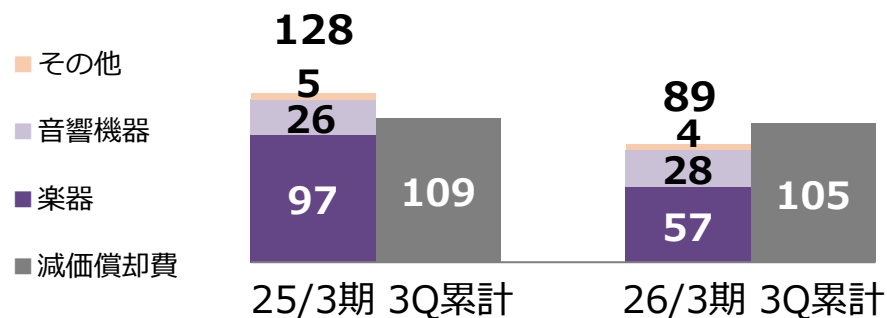
Rebuild & Evolve

**上場株式（株主に対する情報提供方法などの情報収集のため保有している銘柄を除く）

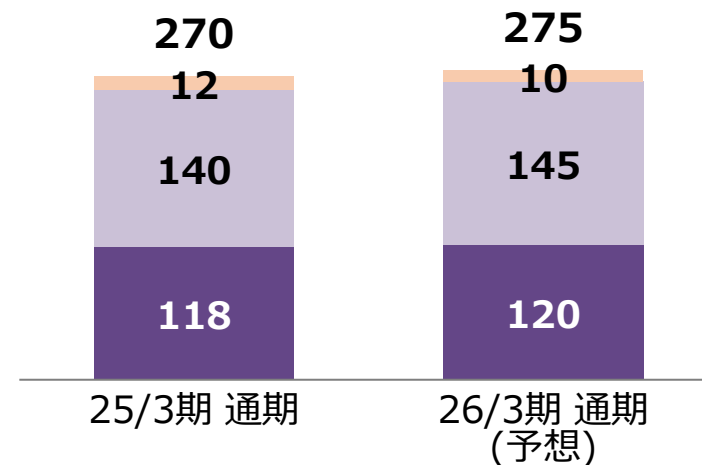
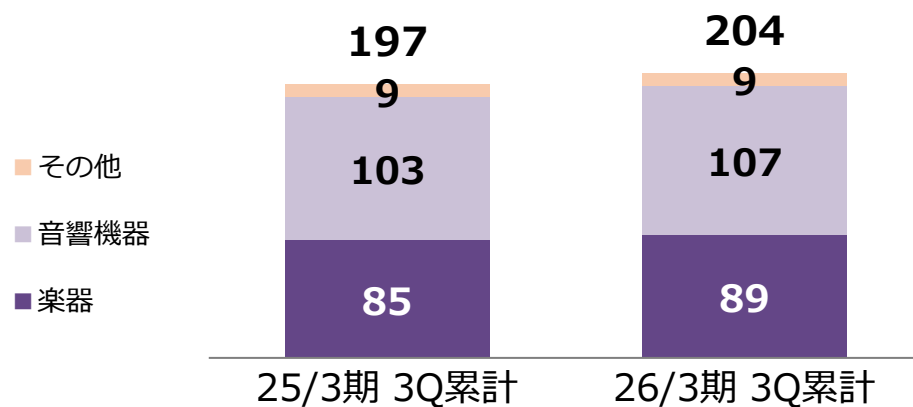
設備投資額・減価償却費/研究開発費

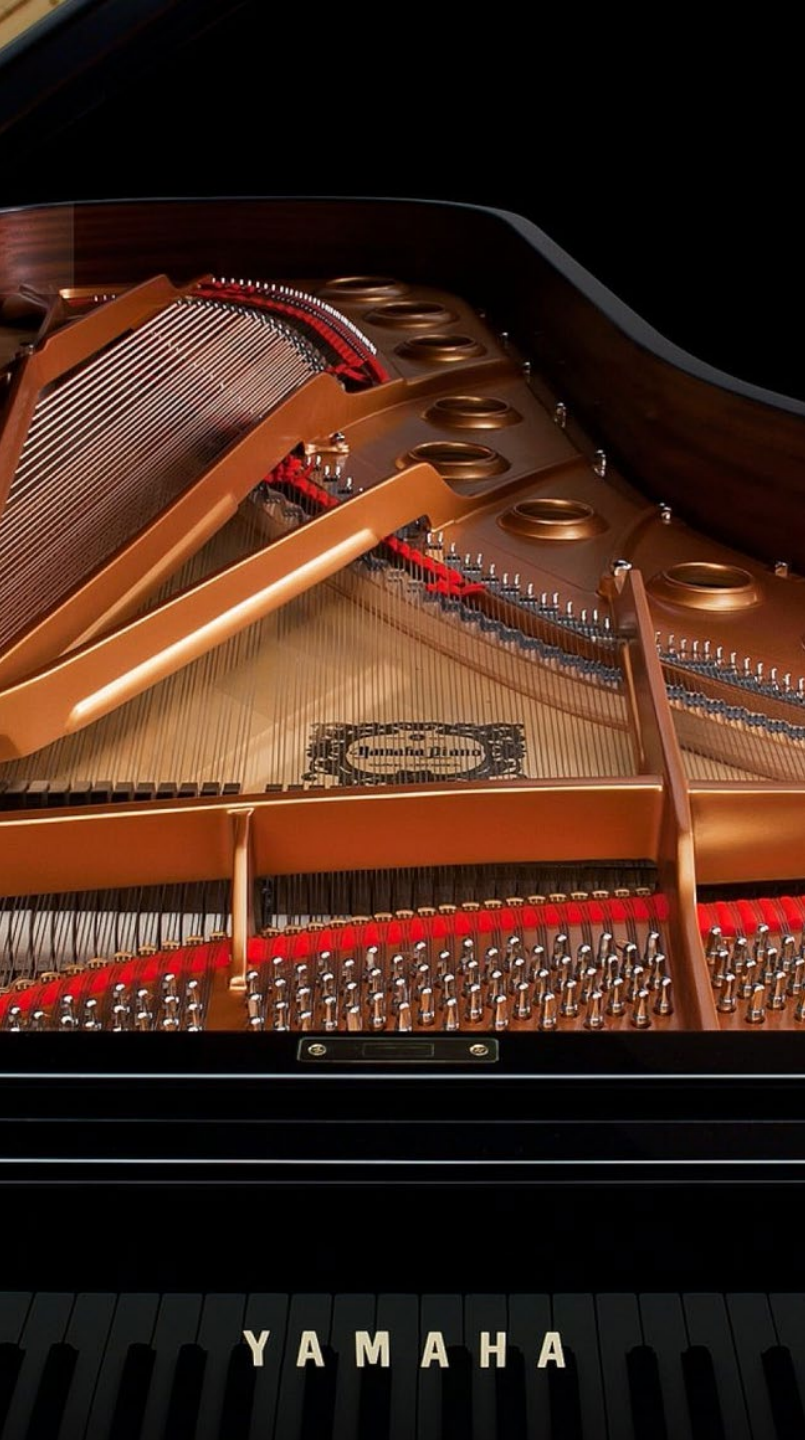
設備投資額/減価償却費

(億円)



研究開発費





4. トピックス

中期経営計画 重点テーマ

強固な事業基盤の再構築

技術×感性で磨く本質的価値を
追求した新商品

グランドピアノ



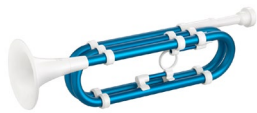
C3X espresso

エレクトーン



ELS-03シリーズ

カジュアル管楽器



Trova

トランスアコースティックギター



TAS3C

音楽制作機器



MGXシリーズ



URXシリーズ



CC1

未来を創る挑戦

新規事業創出への挑戦

ヤマハ・ミュージック・イノベーションズの経営トップ2名が、
米ビルボード誌「Finance 50」に選出

(左から)

Yamaha Music Innovations
マネージングパートナーアンドリュー・カーン
社長兼CEO 杉野 祐介



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26012901/

新興国の音楽教育普及の 取り組み拡大

『National Pianica
Competition』を教育省
と共催 (インドネシア)

<https://www.youtube.com/watch?v=y1psMQjFOA> (インドネシア語)



JICA協業によるフィリピン
教育省行政官の
日本・インドネシア
視察実施 (フィリピン)



サステナビリティを価値の源泉に

持続可能な木材調達

インドローズウッドの持続的な森林保全・管理
の実現に向け、ヤマハとインドの製材業者
「Overseas Traders」が協働を開始



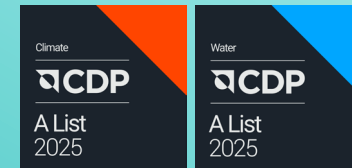
アコースティックギターの原材料のインドローズウッド

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25112001/

気候変動への取り組み

CDP2025「気候変動」と「水セキュリティ」で
最高評価の「Aリスト」企業に選定

気候変動は3年連続
4回目、水セキュリティ
は初選定

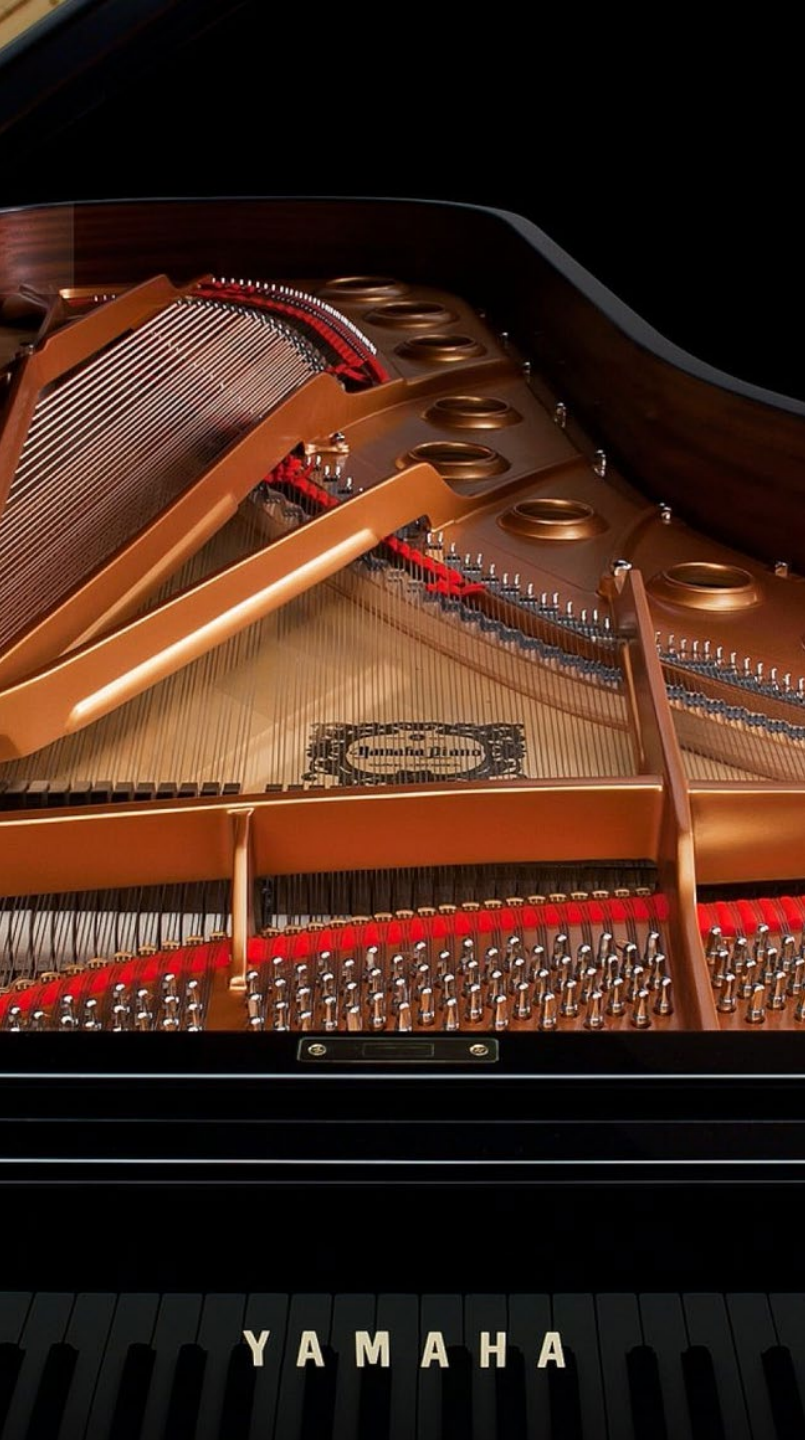


https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25122901/

ヤマハグループ温室効果ガス排出削減目標が
SBTiの「ネット
ゼロ目標」認定を
取得



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26012801/



付属資料

3Q 業績概要

(億円)

	25/3	26/3	前期比	
売上収益	1,226	1,247	21	+1.7% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	115 (9.4%)	123 (9.9%)	8	+7.3%
当期利益 ^{*1}	90	104	14	+15.6%
為替レート (円)			^{*2} △1.1% (為替影響除く)	
US\$	149	153		
EUR	162	178		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

3Q 事業別実績

(億円)

		25/3	26/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	797	829	31	22
	事業利益	78	87	9	12
	事業利益率	9.8%	10.5%	+0.7P	
音響機器事業	売上収益	379	370	△9	12
	事業利益	37	31	△5	2
	事業利益率	9.7%	8.5%	△1.2P	
その他の事業	売上収益	49	48	△1	1
	事業利益	0	5	5	1
	事業利益率	0.9%	10.6%	+9.7P	

3Q累計 その他収支等

(億円)

		25/3	26/3
事業利益		319	251
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	△1	△1
	その他	△115	△7
	計	△116	△7
営業利益		203	244
金融収支計	受取配当金	18	11
	その他	20	35
	計	38	46
税前利益		241	290
法人税等		△97	△87
非支配株主利益		△1	△1
当期利益*		143	202

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		25/3	26/3 (予想)
事業利益		367	330
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	4	9
	その他	△164	△39
	計	△160	△30
営業利益		207	300
金融収支計	受取配当金	26	19
	その他	△8	27
	計	18	46
税前利益		225	345
法人税等		△90	△102
非支配株主利益		△1	△2
当期利益*		134	240

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。